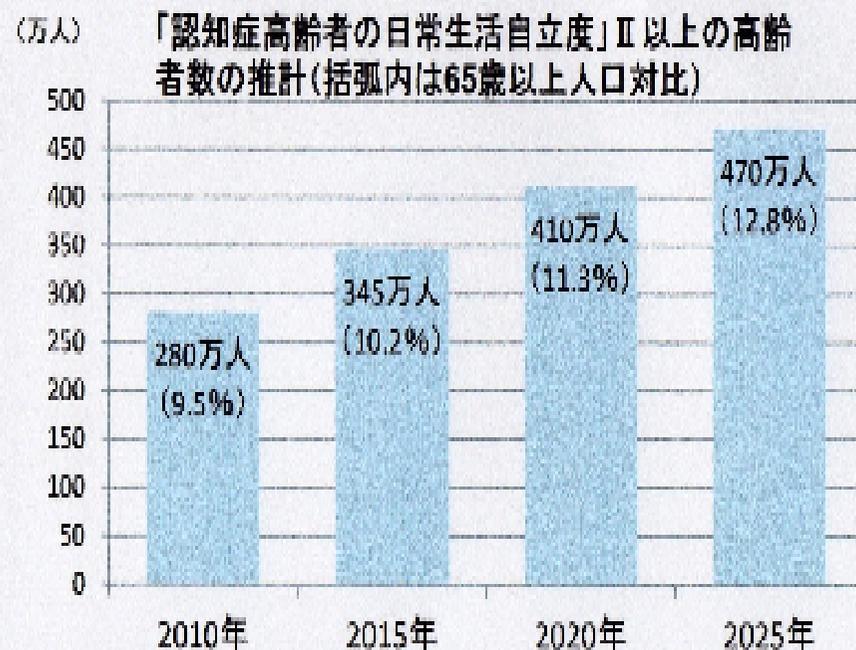


今後の高齢者人口の見通しについて

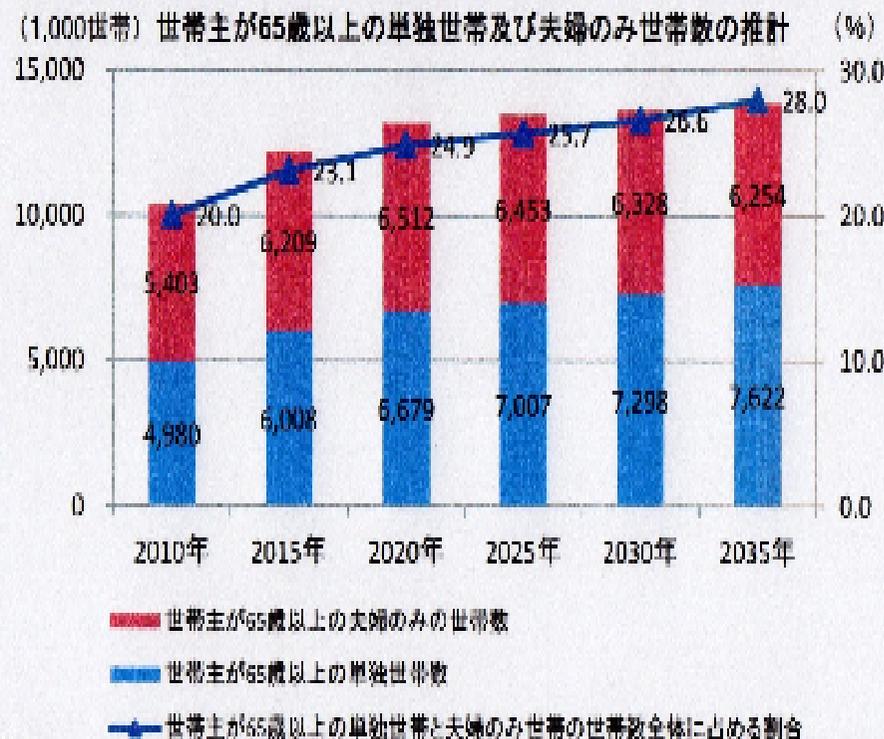
- ① 65歳以上の高齢者数は、2025年には3,657万人となり、2042年にはピークを迎える予測(3,878万人)。また、75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加していき、2055年には、25%を超える見込み。

	2012年8月	2015年	2025年	2055年
65歳以上高齢者人口(割合)	3,058万人(24.0%)	3,395万人(26.8%)	3,657万人(30.3%)	3,526万人(39.4%)
75歳以上高齢者人口(割合)	1,511万人(11.8%)	1,646万人(13.0%)	2,179万人(18.1%)	2,401万人(26.1%)

- ② 65歳以上高齢者のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の高齢者が増加していく。

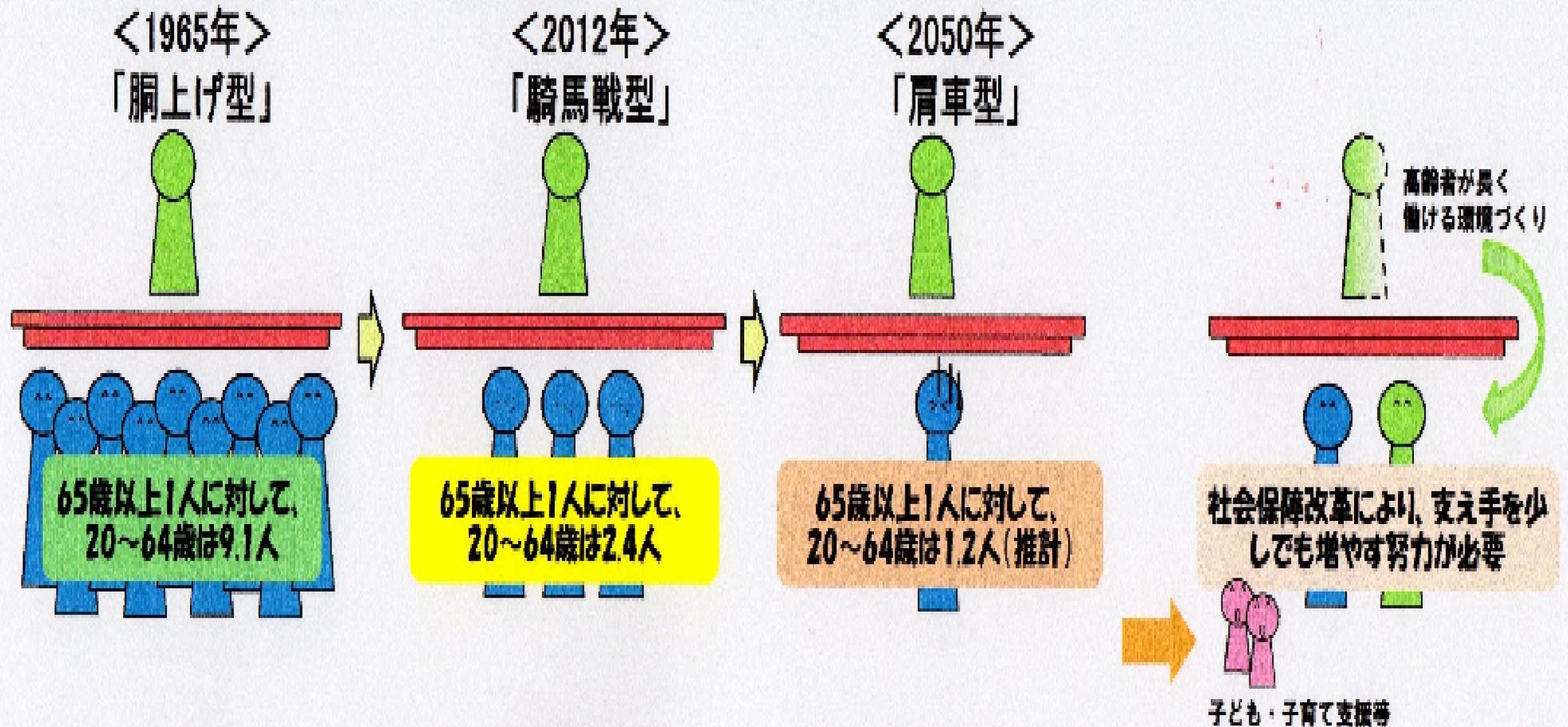


- ③ 世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加していく。



「肩車型」社会へ

今後、急速に高齢化が進み、やがて、「1人の若者が1人の高齢者を支える」という厳しい社会が訪れることが予想されています。



(出所)総務省「国勢調査」、社会保険・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」、出生中位・死亡中位、厚生労働省「人口動態統計」



「健康年齢」



	平均寿命	健康年齢	介護される年数
男性	80.21 歳	70.42 歳	約 9.79 年
女性	86.61 歳	73.62 歳	約 12.99 年

※資料 平均寿命：厚生労働省資料(2014年7/31発表)より

※資料 健康年齢：厚生労働省資料(2012年6月発表)より

介護を受けたり・病気で寝たきりになったりせず、自立して健康に生活できる期間